

## 「Pee Check!」検体送付手順

### A. 採尿キットの構成

以下のものが揃っているか、事前にご確認下さい。

- |                                     |                                   |                                |
|-------------------------------------|-----------------------------------|--------------------------------|
| <input type="checkbox"/> キャップ付き専用容器 | <input type="checkbox"/> スポイト     | <input type="checkbox"/> 採尿カップ |
| <input type="checkbox"/> チャック付きビニル袋 | <input type="checkbox"/> 検査検体送付用紙 | <input type="checkbox"/> 返信用封筒 |

### B. 検査用の尿の採取法について。

#### ☆採尿に慣れたワンちゃんの場合

同封の採尿カップを用いて、排尿にあわせて採取してください。

ダックス、トイプードルなど、股下の短い犬種には次の方法をお勧めします。

#### ☆ペットシートを使う方法

ペットシートのいつもおしっこをする部分にサランラップを敷くか、ペットシートを裏返して排尿させ、尿を浸み込ませずにスポイトで採取してください。

#### ☆採尿中にこぼれてしまった場合

きれいな床等にこぼれた尿でも検査に影響はありません。ペットシートを使っても上手く採尿できない場合には、こぼれた尿をスポイトで素早く集めてください。

#### ☆どうしても採尿できない場合

自然排尿でなくても検査に影響はありません。動物病院では膀胱内の尿を注射器で直接採尿（穿刺）するので失敗はありません。ご自宅でもどうしても上手く行かない場合には、かかりつけの動物病院にご相談下さい。

### C. 検査用尿の送付について

1. 採取した尿は専用容器に移し、キャップをきつく閉めてください。  
容器には微量の粉末が入っています。これは防腐剤の役割を果たすので、洗ったり取り除いたりしないで、そのまま尿を入れて下さい。
2. 専用容器に入れた尿と必要事項を記入した「検査検体送付用紙」をチャック付きビニル袋に同封してください。
3. 返信用封筒を用いて投函してください。切手は不要となっています。  
検査する尿が複数ある場合にも、返信用封筒はそれぞれにお使い下さい。  
採尿から2日以上投函できない場合、冷蔵庫での保管をお願いいたします。